

平成19年度 岐阜県高等学校新人バスケットボール大会
 兼 東海高等学校新人バスケットボール大会県予選会
 大会第2日:平成20年2月2日(土)
 会場:岐阜メモリアルセンターで愛ドーム・ふれ愛ドーム

男子の部

<審判>

Aブロック 決勝	岐阜総合	90	$\begin{bmatrix} 12 - 27 \\ 24 - 16 \\ 19 - 12 \\ 20 - 20 \\ 15 - 6 \end{bmatrix}$	81	美濃加茂	室谷伸治・山田祐治
Bブロック 決勝	高山西	80	$\begin{bmatrix} 17 - 19 \\ 18 - 15 \\ 19 - 15 \\ 26 - 12 \end{bmatrix}$	61	土岐商	相宮俊郎・長屋 貴
Cブロック 決勝	中津川工	84	$\begin{bmatrix} 21 - 16 \\ 19 - 11 \\ 15 - 19 \\ 29 - 24 \end{bmatrix}$	70	富 田	小牧秀則・棚橋英一
Dブロック 決勝	岐阜農林	115	$\begin{bmatrix} 25 - 15 \\ 40 - 23 \\ 30 - 17 \\ 20 - 17 \end{bmatrix}$	72	恵 那	高橋英彦・中野貴晶
5位決定 予備戦	美濃加茂	90	$\begin{bmatrix} 24 - 17 \\ 22 - 4 \\ 22 - 20 \\ 22 - 14 \end{bmatrix}$	55	土岐商	角平和優・小池匡弥
5位決定 予備戦	恵 那	78	$\begin{bmatrix} 19 - 17 \\ 25 - 19 \\ 22 - 13 \\ 12 - 22 \end{bmatrix}$	71	富 田	菅野 浩・津田健介
決勝 リーグ	岐阜総合	104	$\begin{bmatrix} 23 - 10 \\ 25 - 27 \\ 32 - 17 \\ 24 - 21 \end{bmatrix}$	75	高山西	増田博徳・三浦広和

第1ピリオド、お互いにミスが多くてたが、岐阜総合は相手のターンオーバーから速攻に出て、岡島、松井らのシュートがよく決まり、岐阜総合が23-10とリードを奪う。

第2ピリオドに入ると、岐阜総合は 寺井のジャンプシュート、桐山のゴール下、田代の3点シュートなどで着実に加点する。しかし、高山西もようやく本来の動きを取り戻し、光賀、松井、大家の速い攻撃で互角の展開に持ち込む。前半は岐阜総合が48-37とリードを守る。

第3ピリオド、岐阜総合はゾーンプレスから相手のミスを誘い、田代、長尾のシュートで着実に加点していく。高山西も、中崎、光賀のジャンプシュートで追うが、点差は縮まらない。

第4ピリオドに入っても岐阜総合の勢いは衰えず、岡島、寺井、木戸脇のシュートでリードを守り、岐阜総合が104-75で勝利し、決勝リーグ1勝目をあげた。高山西も最後までディフェンスで粘りを見せるが、出だしのミスが最後まで尾をひいた。(名越龍男)

決勝 リーグ	岐阜農林	86	$\begin{bmatrix} 27 - 14 \\ 14 - 12 \\ 28 - 19 \\ 17 - 21 \end{bmatrix}$	66	中津川工	松野瑞穂・宮崎泰彦
-----------	------	----	--	----	------	-----------

両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。岐阜農林は出だしから今井のドライブ、小林の3点シュートなどでバランス良く攻めて得点をあげていく。中津川工も田口の攻守にわたる活躍で、3点シュートをよく決めて応戦する。第1ピリオドは岐阜農林が27-11とリードする。

第2ピリオドに入って、岐阜農林はディフェンスリバウンドを確実に奪うと、川崎、下瀬らのミドルシュート、ドライブインなどで着実に加点する。中津川工は田口の3点シュート、原のシュートで点差を縮めようとする。前半は岐阜農林が41-26とリードして後半を迎える。

第3ピリオドに入って、岐阜農林は粘り強いディフェンスから、下瀬のドライブイン、加藤、川崎の3点シュートなどで、着実に加点してゆく。中津川工もディフェンスを2-3ゾーンに変え、島津、加藤の3点シュートなどで追い上げる。

第4ピリオドに入っても、岐阜農林はディフェンスをゆるめず、最後まで走り切って86-66で勝利し、決勝リーグの1勝目をあげた。中津川工もディフェンスの頑張りから必死に追い上げを図ったが、追いつけられなかった。(林 義貴)

女子の部

<審判>

Aブロック 決勝	岐阜女子	158	$\begin{bmatrix} 39 - 11 \\ 36 - 6 \\ 38 - 4 \\ 45 - 9 \end{bmatrix}$	30	大垣商	堀口和人・杉山秀謙
-------------	------	-----	---	----	-----	-----------

Bブロック 決勝	岐阜総合	83	$\begin{bmatrix} 14 - 9 \\ 24 - 4 \\ 20 - 15 \\ 25 - 34 \end{bmatrix}$	62	長良	小泉純子・鈴木雅雄
-------------	------	----	--	----	----	-----------

Cブロック 決勝	高山西	85	$\begin{bmatrix} 23 - 7 \\ 23 - 8 \\ 26 - 6 \\ 13 - 15 \end{bmatrix}$	36	中津	早野宏樹・三宅浩平
-------------	-----	----	---	----	----	-----------

Dブロック 決勝	岐阜県岐阜商	98	$\begin{bmatrix} 33 - 21 \\ 20 - 19 \\ 19 - 22 \\ 26 - 21 \end{bmatrix}$	83	多治見西	下村勝彦・杉山広之
-------------	--------	----	--	----	------	-----------

5位決定 予備戦	大垣商	78	$\begin{bmatrix} 18 - 20 \\ 20 - 10 \\ 24 - 10 \\ 16 - 23 \end{bmatrix}$	63	長良	藤浪元明・小森邦弘
-------------	-----	----	--	----	----	-----------

5位決定 予備戦	中津	61	$\begin{bmatrix} 16 - 20 \\ 16 - 12 \\ 11 - 10 \\ 18 - 10 \end{bmatrix}$	52	多治見西	神山元秀・田村宣行
-------------	----	----	--	----	------	-----------

決勝 リーグ	岐阜女子	93	$\begin{bmatrix} 22 - 12 \\ 29 - 9 \\ 28 - 6 \\ 14 - 20 \end{bmatrix}$	47	岐阜総合	土本 繁・岩永英夫
-----------	------	----	--	----	------	-----------

第1ピリオド、互いにオールコートマンツーマンでスタートする。岐阜女子はディフェンスで積極的にダブルチームを仕掛けて次々と速攻に結びつけ、また 上原の巧みなリードを起点に次々と得点をあげリードを奪う。岐阜総合も 前田がチームの全得点をあげる活躍を見せるが、厳しいディフェンスを破ることができない。

第2ピリオドに入って岐阜女子はさらに激しいディフェンスで相手の攻めを封じると、中村、汪、宮部らが次々にシュートを決めていく。前半で岐阜女子が51-21と30点のリードを奪う。岐阜総合も酒井のジャンプシュート、前田の3点シュートが決まるが、苦しいゲーム展開になる。

第3ピリオドに入っても岐阜女子のリズムは変わらず、汪のポストプレー、岡田の3点シュートなどが次々に決まっていく。

第4ピリオド、岐阜女子はベンチメンバーに替わっても的確なシュートを決め、大量リードを守って93-47で勝利し、決勝リーグ1勝目をあげた。岐阜総合もフルメンバーチェンジをしたり、ディフェンスの頑張りをみせ、前田が7本の3点シュートを決め、野倉のリバウンドシュート、尾関のドライブなどで反撃を試みるが、相手ディフェンスを崩すまではいかなかった。(恩田 司)

決勝 リーグ	県岐阜商	78	$\begin{bmatrix} 22 - 9 \\ 12 - 16 \\ 31 - 14 \\ 13 - 20 \end{bmatrix}$	59	高山西	大江裕之・赤石恵美子
-----------	------	----	---	----	-----	------------

両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。県岐阜商はスピードのある攻撃でファウルを得ると、フリースローを確実に決め、またインターセプトからの速攻などで次第に点差を広げ、第1ピリオドで22-9と主導権を握る。

第2ピリオドに入って、県岐阜商は 吉田を起点に、宮ノ脇、渡邊の巧みな攻めで得点を重ねる。高山西もようやく 武の高さを生かしたポストプレーや、朝熊のスピードのある攻撃で追い上げをみせる。前半は県岐阜商が34-25とリードして折り返す。

第3ピリオドに入っても県岐阜商は 宮ノ脇を中心に得点を重ね、羽賀のゴール下シュート、山田の連続3点シュートなどでさらに点差を広げる。高山西はディフェンスをゾーンに変え、攻めては井上や 原の3点シュートが決まるもののミスが多く、点差は広がるばかりであった。

第4ピリオド、県岐阜商は着実に得点を重ね、相手の反撃を振り切り78-59で勝ち、決勝リーグ1勝目をあげた。高山西もオールコートマンツーマンで相手を4分間ノーゴールに抑え、4本の3点シュートなどで果敢に反撃するが、及ばなかった。(原田 健)